



いとはら 系原 文昭 議員

質問

マース 医療MaaSの導入や運用は

町長

検証結果を注視し情報収集へ



医療MaaS運用 診療車両内の様子（イメージ写真）

質問

医療MaaSは、医師が病院にしながら、診療車両を患者の自宅や過疎地域へ向かわせる遠隔診療である。県内では医療MaaSの実証実験や運用が始まっている。導入や運用する考えは。

町長

県内の他自治体の

実証実験、本格運用の成果や患者の満足度などの検証結果に注視し、情報収集に努める。

質問

この医療MaaSの推進は、県や島根大学医学部附属病院や地域の医療機関の連携が必要と考える。

町長

今後、広域連携関係の諸会議の場や構成自治体や関係医療機関の意

見を聞いて、こうした取組に対して議論していく。

マイナンバーカードとマイナポータル

質問

マイナンバーカードのサービスのマイナポータルは、子育てや介護の申請手続、健康保険証、医療費や薬局で処方された薬の情報、医療関係の受診履歴、健康診断の結果、予防接種の履歴や住民税の情報、年金情報などが確認できる。マイナポータルはどのように行うのか。

再質問

スマートフォンやパソコンの操作に不慣れた住民に対して、島根ITデザイン学校やリハビリの学生による出前講習を実施してはどうか。

町長

医療保険証がマイナンバーカードへ移行され、医療機関へ提示することです足りるということもあり、マイナポータル

町長

町内でバイトがないということもあり、それぞれの学校と相談していく。